

いけばなに込められた
思いやりの心を広めたい



池坊由紀さん
華道家元池坊次期家元

いけばなをされているときの父や母は、多くのお弟子さんたちに囲まれて、子どもながらにどこか「甘えちゃいけない」と感じながら見ていました。でも、そんな両親が家に帰ってくる、アイスクリームを作ってくれたり、植物園に連れて行ってくれたり…。父も母も忙しかたに思いますが、子どもたちと一緒にいる時間をとても大切にしてくれました。

小学校に入学する前、母に鳥の図鑑を買ってもらったんです。でも、鳥の名前は全部カタカナで書かれていますので、私はまだ読めません。すると、母が「つづみ」がなでワルビを振りながら鳥の話をしてくれたんです。本当にうれしくて、その図鑑を宝物のように持ち歩いていたことを覚えていますが、親が子どもに何かよくこうとき、いとも違う特別なことをしなければ…と思ってしまうかもしれません。でも、そんなに身構える必要はないんです。日常の中のほんのささやかな思いやり、心配りで、



池坊さんのいけばな指導に外国の子どもたちも興味津々

プロフィール ● 京都市生まれ。華道家元池坊の次期46世家元。全国各地の本部展などへの出張に力を注いでいるほか、1992年より3年間シンガポールで活動し、池坊シンガポール支部設立に協力するなど、海外でのいけばな普及にも精力的。いけばなと日本画・陶芸とのコラボレーションや、インターネットによる花展など、従来の枠にとらわれない斬新な発想で独自のいけばなを追求している。現在、学校法人池坊学園お茶の水学院長を務めるほか、京都市観光大使、京都市立高倉小学校の学校運営協議会委員、「歴史京都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定（ジュニア京都検定）」推進プロジェクト委員として活躍。

今年の秋には、ジュニア京都検定も実施されます。知識だけを試すのではなく、伝統や文化を実際に体験してもらう機会を提供するなど、ユニークな検定内容となっています。時代はグローバル社会に向かっていますが、子どもたちがまず自分たちの住む地域の素晴らしさに気づき、その魅力を再認識すること。それが京都の文化力を高めることになると思っています。

時を越えていく
ひとと郷土
歴史都市・京都

あしたのために

家庭教育新聞

FOR OUR FUTURE

発行：京都市教育委員会
(生涯学習部家庭地域教育支援担当)
京都市中京区寺町御池 ☎075-222-3590
http://www.edu.city.kyoto.jp/kateituki

Vol. 171
平成18年(2006年)

◆もくじ

2 学力向上へ! 中学生の自学習・自習を支援「学習確認プログラム」スタート

● 京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク「設置施設愛称」と「ボランティア」募集 ● 読書大好き! ⑧

3 ジュニア京都検定11月いよいよスタート

● 京都「おやじの会」が「早寝・早起き・朝ごはん」の活動を募集!
● 「子育て体験談／ちょっと聞いて、私の子育て」入選作品
責任感 芦田多恵さん(右京区) ● 第43回 クロスワードパズル

4 みんなで楽しくウォーキング ～世界一美しいまち、京都を歩く～「洛西の3つの世界遺産と名庭園を訪ねて」

● 安倍官房長官 京都御池中を訪問!
● 門川大作教育長等と文科大臣がわが国の人材育成について懇談
インフォメーション／編集後記

華道家元池坊の次期家元として、伝統文化の発信・普及に奔走する池坊由紀さん。いけばなを通して子どもたちと触れ合い、その魅力を発信する地域活動に取り組んでいるほか、今秋から始まる、全国注目の「ジュニア京都検定」にも力を注いでいます。今回は、由紀さんの子どもの頃の体験や子育てに関すること、次代に伝えたい思いなどを伺いました。

やさやかな心配りで
気持ちは通じ合う

子どもたちに「あなたのことを愛している」という気持ちを伝えることができるはず。大切なのは、子どもの目線に立つて接することではないでしょうか。

悩みや迷いの中から
生まれる価値観を大切に

人間というのは不思議なもので、「この子はおとなしい」「やんちゃだ」と決め付けられてしまうと、そのレインルから逃れられなくなってしまうんです。子どもには様々な可能性があつて、無限のチャンスが広がっているんです。スピードばかりが優先される現代ですが、時にはゆとりをもって子どもの成長を楽しみ、待つたり眺めたり、ゆとりをもつことも大切です。きつと、今更

で気づかなかった新しい発見があると思えますよ。

地域の魅力を
次世代に残したい

市立高倉小学校で開かれているいけばな体験授業も、今年で八年目を迎えます。参加して思うのは、子どもは両親だけでなく、いろいろな人たちの関わりの中ではなく、くるまなんだということ。地域と家庭・学校が一体となって、「十」が三にも四にもなる大きな力が生み出される。これは地域のつながりが強い、京都ならではの取組ではないでしょうか。いけばなは、満開の花だけでなく、先の枯れた葉やつぼみを使うことも多いんです。すべての素材に価値を見出し、お互いになくてはならない存在として生かす…。これからも地域の活動に積極的に参加すること、日本人が次々次代に伝えたいと考えています。

安倍官房長官 京都御池中を訪問!

市民ぐるみですめる京都の学校改革に感嘆!

安倍晋三内閣官房長官が8月4日、京都御池中(御所南小・高倉小との小中一貫校)を訪問されました。

当日は、地域の方々がボランティアとして、先生方と共に、お茶、お花、狂言を指導。西陣織の着物姿に着替えられた安倍長官は、それぞれを視察し、自らも体験。また、樹木頼兼市長と門川大作教育長から、保護者・市民・経済界・大学等の参画のもとに京都市のすべての学校・幼稚園ですすめている教育改革を説明。

体験後、指導にあられた大塚香代さん、西脇悦子さん、宮崎健次さんと懇談された安倍長官は、京都ならではの地域の方々による伝統文化を子どもたちへ引き継ぐ取組を絶賛され、京都から日本の文化・伝統を世界へ発信していくことの大切さを熱く語られました。



門川大作教育長等と文科大臣が わが国の人材育成について懇談

7月5日、東京において、小坂文科大臣と門川教育長、鳥居中教審会長の三者で懇談会が行われ、文科省幹部も同席されました。これは、未来の我が国を担う人材育成について意見交換するために実施されたもので、門川教育長は、京都での保護者・地域の参画を得ての学校改革、教師の専門性・指導力の向上等や、市立高校改革とその成果を紹介。また、学校への寄付の税制優遇措置や、熱心な教員の顕彰制度、学校統合への支援等を要望しました。



子どもたちの「あしたのために」 みんなで地球環境を考え、 行動してみませんか?

10月から家庭ゴミは京都市指定ごみ袋(有料)で

指定ごみ袋制度は、次代を担う子どもたちのため、地球環境をこれ以上悪化させない——そのことを目的としてはじまります。次の世代、そしてそのずっと先の世代までも大切な地球を守っていくために、ご家庭でのごみの減量にご協力ください。

京都市のすべての学校では子どもたちが環境宣言を行い、京都議定書に基づいた取組をすすめています。ご家庭においても様々な取組など身近な問題をご家庭で語りあってみませんか。

指定ごみ袋制度のお問い合わせ／環境局まち美化推進課 ☎222-3461

親から子、子から孫へ
主 催：文化庁(社)日本PTA全国協議会
「親子で歌いっそう 日本の歌百選」募集中
締め切り日：10月27日(金) ※詳細は文化庁ホームページ(http://www.uta100sen.jp/)でお問い合わせ／NTTハローダイヤル ☎03-5777-8600

●「再チャレンジふれあいトーク」で京都御池中学校を訪問された安倍官房長官は、京都市が地域と一体となって進めている教育の様々な取組に「さすがは京都」と感激の言葉を何度も口にされました。こういった取組の成果を「関西サミット京都」の実現により内外に発信したいものです。

●京都で育つ子どもたちが、京都をより深く知ること、自分の住むまちに誇りをもち未来につなげていく夢を育てています。「ジュニア京都検定」がその一助となるべく、11月1日はいよいよスタートします。

●美りの秋は、「～の秋」でもあります。それぞれの家庭で子どもたちと一緒に取り組まれた「～の秋」を、編集担当までお知らせください。

この新聞は古紙配合率100%再生紙を使用しています

みんなで楽しく ウォーキング

世界一美しいまち、京都を歩く

洛西の3つの世界遺産と名庭園を訪ねて

京都市の北西、衣笠山のふもとに点在する観光名所を結ぶのが「きぬかけの路」です。一帯は美観風致地区に指定され、四季を通じて美しい風景を楽しむことができます。今回はこの「きぬかけの路」をたどりながら、金閣寺・龍安寺・仁和寺の世界文化遺産を中心に、国の史跡・特別名勝に指定されている京の名庭園を訪ねます。



北山文化を代表する金閣寺から「虎の子渡し」の石庭へ

室町時代の初期、京に花開いた文化を北山文化といい、その文化を代表するのが金閣寺です。もとは室町幕府3代将軍の足利義満が築いた別荘で、義満の死後、鹿苑寺が正式名称となりました。昭和62年には金箔の張り替えが行われ、現在は鏡湖池のほとりにまばゆいばかりの華やかな姿を見ることが出来ます。金閣寺前からきぬかけの路を南西へ、立命館大学の南に位置する等持院は、室町時代初期に活躍した臨済宗の僧・夢窓疎石の作と伝えられる庭園が見どころです。再びきぬかけの路に戻って龍安寺へ向かいます。豊かな自然に囲まれた大きな鏡容池を左に見ながら境内を奥に進むと、世界的に有名な石庭があります。白砂と15個の石を並べた庭園は、親虎が子どもに寄り添って川を渡るように見えるため「虎の子渡し」とも呼ばれています。



きぬかけの路、通称「観光道路」の名が示すように、京都の中でも世界遺産をはじめ歴史的建造物の多い地域を歩きました。等持院は観光道路から少し離れた、いへん静か。青い空と木々の緑、ビルなど金箔の景色も見えず、心地よい風と静かな世界に時の流れの静けさを感じました。龍安寺の石庭では、見る角度によって石がひとつずつ見え隠れするという説明に子どもたちも興味津々。御室院で知られる仁和寺は、これからの紅葉の頃も魅力だと思います。学区の近くにある、それと近いゆえに、わざわざ訪ねることの少ない京都の歴史遺産。ジュニア京都検定のテキストブックを手に、子どもと一緒にもう一度歩きたくなりました。

金閣寺子育てサポーター 宮下真理・松宮直美ほか

「おめでとう・ありがとう」の手紙
募集
① 新成人から家族への「ありがとう」の手紙
② 新成人の家族や関係の深い方から新成人への「おめでとう」の手紙
③ ①、②いずれかの内容の600字程度の手紙(未発表のもの)

応募方法 10月1日(日)～11月15日(水)
氏名、生年月日、住所、電話番号、(あれば)Eメール・アドレスを印刷し、封入して「家族で行く温泉旅行」をテーマのいずれかで応募する。

人づくり連続講座
「気づいていますか?」をキャッチフレーズに、子どもたちが直面する問題を考える講座です。お誘い合わせの上、是非ご参加ください。多くの市民が参加し、熱気溢れる昨年の連続講座会場

第1回 気づいていますか? 身近な薬物問題
9月28日(木) 18:30～20:30 総合教育センター 河原町通仏光寺西入
講師 ● 原田敬子氏 京都市学校薬剤師会副会長

第2回 気づいていますか? 子どもたちの現状～ゲーム・携帯・ネットの弊害
10月28日(土) 14:00～16:00 京都新聞文化ホール 烏丸通奥川上る
講師 ● 魚住綱代氏 京都府立少年院院長

お問い合わせ 人づくり21世紀委員会事務局
生涯学習部家庭地域教育支援担当 ☎222-3590